要件定義書

目的

本要件定義書は、宿泊システムの開発に関する要件を明確にし、開発プロジェクトの方向性を示すことを目的とする。

概要

本システムは、秋葉原トラベルの紙パンフレットを使用した宿泊予約の効率性、顧客サービスの向上を測るために開発される。

現在の手動業務を自動化し、会員及び管理者が簡単に宿泊予約を行えるようにする。

業務概要

秋葉原トラベルは、紙パンフレットを使用して宿泊予約を受け付けている。しかし、この方法では宿泊情報の提供や顧客サービスに関して課題がある。そのため、本システムを導入し、会員及び管理者が宿泊予約を容易に行えるようにする。

規模

1人月。

機能要件

1.会員管理機能

会員情報の編集、削除を行うことができる。

2.宿泊管理機能

宿情報の登録、編集、削除ができる。

3.宿予約機能

顧客が宿泊予約できる。

予約内容の確認、変更、キャンセルができる。

4.口コミ機能

宿の口コミの投稿、閲覧ができる。

5.会員ランク機能

会員ランクに応じたサービスを提供する。

6.割引クーポン機能

サービスを10回利用するごとに10%割引クーポンが1枚発行され、割引クーポンを使用することで宿泊料金が割引される。

宿泊時に宿泊料金の5%がポイントとして付与され、1ポイント=1円で100ポイント単位で利用できる。

データフロー

新規登録時に項目全て入力されている事を確認しデータベースに保存する。

予約可能な場合は必要事項をデータベースに保存する。

キャンセル時にはデータを削除し、変更時には削除してから新たに登録する。

投稿された口コミをデータベースに保存しホテルごとに表示する。

現状のフロー

顧客が窓口に問い合わせる。

窓口担当者が紙パンフレットから宿泊情報を提供する。

窓口で各種手続きを行う。

構築後のフロー

顧客がWebサイトにアクセスし、宿泊予約を希望する宿を選択する。

顧客が予約情報を入力し、予約を確定する。

管理者権限を用いて顧客、宿情報を管理する。

システムの利用者

秋葉原トラベルの従業員とその利用者